

平成30年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

学校番号	14
------	----

I 自己評価

1 学校教育目標	<p>「知・徳・体」の調和のとれた、人間性豊かで、たくましく生きることのできる生徒の育成に取り組む。</p> <p>(1) 学習活動を重視し、自己実現に向けた意欲的な態度の育成</p> <p>(2) 規範意識の確立と豊かな心の育成</p> <p>(3) 自主・自立の精神の育成</p>	
2 評価する領域・分野	◇進路指導：「進路指導」「学習指導」「情報提供」	
3 生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析	<p>・生徒へのアンケート結果</p> <p>「生徒に適した進路情報を示し、生徒の可能性を引き出そうとしている」 平成29年度87.8% → 平成30年度80.0%</p> <p>「生徒の将来の希望に沿った具体的な進路指導が行われている」 平成29年度90.9% → 平成30年度88.6%</p> <p>これらの項目は、ともに昨年度より若干評価を下げている。進路行事や集会での進路指導の説明やホームルーム活動での進路指導、進路講演会など、幅広い進路希望の生徒に対応した内容の情報を提供していきたい。</p> <p>・保護者へのアンケート結果</p> <p>「進路説明会等、保護者が必要とする進路情報の提供の場を設けている」 平成29年度95.7% → 平成30年度88.6%</p> <p>「生徒の進路希望に添った適切なアドバイスをしている」 平成29年度88.3% → 平成30年度80.0%</p> <p>これらの項目も生徒へのアンケート結果と同様に昨年度より若干評価を下げている。進路講演会には保護者に案内状を出し、多くの保護者に参加していただいたが、その他、幅広い進路指導の情報が保護者に提供できるように工夫していきたい。</p>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇進路指導：生徒が主体的に進路を決定できるよう指導する。 「生徒一人一人がふさわしいキャリアを形成し、自立していけるよう必要な意欲・態度や能力を育成する」	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<p>・生徒が自己分析を行い、主体的な進路決定と自己実現に向けて努力する環境を整える。</p> <p>・全職員の協力による選抜クラス全員補習・一般補習・小論文指導・面接指導の実施および大学等の説明会への参加。</p> <p>・「進学指導重点校事業」の指定校としての研究を実践する。</p>	
6 目標の達成に必要な具体的な取り組み	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<p>(1) 進路ガイダンス・進路講演会・キャリア講演会を実施する。</p> <p>(2) インターンシップ・看護体験学習・オープンキャンパスへの積極的な参加を推進する。</p> <p>(3) 進路情報を適切に生徒や保護者へ提供する。</p> <p>(4) 国公立大学推薦入試対策・学力向上・学習方法と習慣の確立・最後まで粘る姿勢作り。</p>	<p>(1) ガイダンス・講演会・インターンシップの事後指導における生徒のレポートおよび感想文の内容</p> <p>(2) 補習授業の生徒の参加状況</p> <p>(3) 生徒および保護者等を対象としたアンケートの結果</p> <p>(4) 校外模試学習成績と進学実績</p>	

8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・進路講演会・進路ガイダンス・キャリア講演会の実施。 ・インターンシップ・看護体験学習・体験入学・オープンキャンパスへの参加の推進。 ・MSAテスト・外部模試・適性検査の実施。 ・補習授業およびサテライト講座の実施。 ・小論文指導・面接指導の実施。 ・適切な進路情報の提供。 ・外部講師による講演、講義。 ・校内環境の整備。 ・図書部との連携。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒が自らの在り方や生き方について考え、将来に対する目的意識を持つことができたか。 ②生徒が主体的に進路選択をすることができ、進路実現に向けて努力する環境を整えることができたか。 ③補習授業およびサテライト講座の参加状況。 ④AO入試・推薦入試・一般入試への対応と結果。 	<p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p> <p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> A B C D</p> <p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p>

<p>11 成果 ・ 課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○進路講演会は、学年ごとに4月、5月に実施し、各学年に応じた学習への動機付けとして効果的であった。 ○進路ガイダンスは、1・2年次生は20講座を設けた出前授業、3年次生は国公立大向け講話と面接試験指導講演会を実施した。生徒の進路希望に応じたガイダンスとなり大変好評であった。 ○全校生徒対象で実施したキャリア講演会は、大学や進路選びの基本をユーモアを交えて説明され、大変好評で生徒の意欲が高まった。 ○2年次生の夏季休業中の進路体験学習は、ほとんどの生徒がオープンキャンパスに参加し、進路意識を高めることができた。 ○校内実力テストに代わって実施したMSAテストは、模試の前に実施し、一定の成果があった。教員の負担は軽減された。 ○補習授業については地歴公民科・理科についても2年生の後期から実施できた。また、冬季三者懇談中、3年生後期特編中にも補習を実施した。 ▲月・金曜日の休日や行事が多く、十分な補習日数が取れなかった。 ○推薦やAO入試において3年学年会と協力して、面接や小論文の指導を効果的に実施することができた。 ○大手予備校講師に授業と学習方法の講演を何度か実施し大変好評であった。 ○国公立大学推薦入試合格者が1名から7名に増加した。 	<p>総合評価</p> <p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p>
-------------------------------	--	--

<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路ガイダンスは、キャリア教育を含めた出前講座を実施し、生徒の主体的な進路選択の助けとしたい。 ・進路目標達成のためには絶対的に学力が必要である。生徒の学習習慣を付けること、意欲を持って学習に臨めるような進路指導を工夫したい。 ・英語4技能外部検定の入試に対応するために、英検以外にも外部検定を導入したい。 ・大手予備校講師の講演・講義にさらに多くの生徒が参加できるように工夫したい。
--

II 学校関係者評価

実施年月日：平成31年1月28日

<ul style="list-style-type: none"> ・就職から進学希望者まで多様な生徒に対して手厚い指導を実践できている。 ・3年生後半での補習の実施など、最後まで粘り強く頑張らせる指導は大変ではあるが素晴らしいこと。 ・進学指導重点校の試みとして教員のスキルアップを図ることは大切なことである。 ・生徒に自分たちで考えさせる機会を多く取り入れ、課題を持って生活をさせてほしい。 ・オープンキャンパスなどには更に参加を促し、将来を考える機会を増やすことが必要である。
